

平成29年度 キャリア教育実践プログラム

■かながわキャリア教育推進実践プラン（平成17年3月策定）

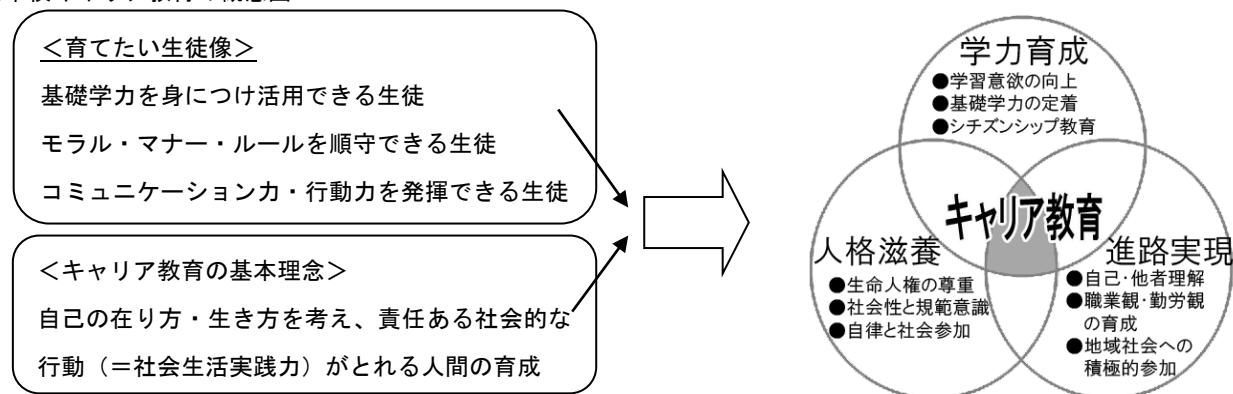
[ねらい]

生徒一人ひとりが一生をとおした自己の生き方、あり方について考え、勤労観、職業観を身につけることができるよう、高校3年間を見通した計画的なキャリア教育を展開することをめざした総合的な取組みを実施する。

[推進の基本方針]

- 一人ひとりのキャリア発達への支援
- 働くことへの意欲・学習意欲の向上
- 職業人としての資質・能力の向上
- 自立意識の涵養と豊かな人間性の育成

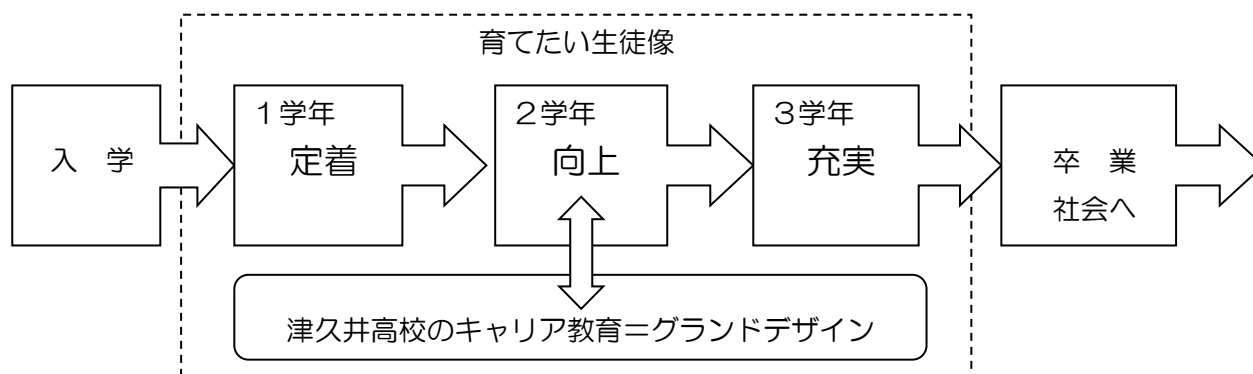
■本校キャリア教育の概念図



■本校キャリア教育実践プログラムの目標

自己理解・他者理解を深め、コミュニケーション能力を高めるとともに職業観や勤労観を育成し、学習意欲の向上を図り、基礎学力や積極的に社会参加する姿勢、モラル・マナー・ルールを身につけさせ、社会を生き抜く力を育む。

■津久井高校での3年間のストーリー



校訓

気品 勉学 健康 協力 自治 責任 行動

育てたい生徒像

- 基礎学力を身につけ活用できる生徒
- モラル・マナー・ルールを順守できる生徒
- コミュニケーション力・行動力を発揮できる生徒

キャリア教育

～自己の在り方・生き方を考え、責任ある社会的な行動（社会生活実践力）がとれる人間の育成～

学力育成

- 基礎学力の定着・向上
- 学習意欲の向上
- シチズンシップ教育

人格滋養

- 生命人格の尊重
- 社会性と規範意識
- 自律と社会参加

進路実現

- 自他理解
- 職業観・勤労観の育成
- 地域社会への積極的参加

外部教育力の活用

校内

- ・地域の食文化（食育）
- ・ガイダンス、講演会
- ・上級学校体験授業
- ・学び直しのための教材

校外

- ・インターンシップ
- ・企業訪問、上級学校訪問
- ・看護体験、修学旅行等
- ・データの蓄積と分析

- ・福祉教育 ・介護実習
- ・地域貢献活動
- ・ボランティア

◎基礎学力向上

- ・習熟度別授業 ・ICT活用
- ・生徒主体のわかる授業
- ・学び直しと学習意欲の向上

◎生徒活動の活発化

- ・学校行事、委員会、部活動
- ・キャリア教育の一環としての社会見学、修学旅行等

◎個に応じた支援体制

- ・教育相談 ・進路面談
- ・きめ細かな生活指導
- ・面談週間の設定

キャリア能力育成に向けたカリキュラムの編成と展開

地域に根ざした信頼感のある学校づくり

- ・防災教育
- ・安全対策
- ・安全教育

- ・事故防止の取組
- ・適切な情報提供
- ・教育環境の整備

■育成したいキャリア能力

基礎的・汎用的能力	評価の観点	具体的内容
人間関係形成能力	自他理解能力	自己の適性や他者の考えに目を向け、自己分析と自己理解を通して内的成長を果たしていく能力。
	コミュニケーション能力	言語的・非言語的な能力を身につけるとともに、多様な集団・組織の中でコミュニケーションや豊かな人間関係を築きながら成長を果たしていく能力。
キャリアプランニング能力	情報収集・探索能力	進路や職業等に関する様々な情報を収集・探索するとともに、必要な情報を選択・活用し、自己の進路や生き方に活かしていく能力。
	職業理解能力	様々な体験的な活動を通して、学校での学習と社会・職業生活との関連性を見出し、社会における職業・勤労の意義を考察し、理解していく能力。
将来設計能力	役割把握・認識能力	生活・仕事上の多様な役割や意義、その関連等を理解し、自己の果たすべき役割等についての認識を深め、自己実現を果たしていく能力。
	計画実行能力	あらゆる問題や課題などから目標や進路を考え、それを実行するための進路計画を立て、実際に行動していく能力。
意志決定能力	選択能力	様々な場面で主体的に考えたうえで自らにふさわしい選択や決定をし、その結果を真摯に受け入れ、適応・対処していく能力。
	課題解決能力	様々な場面や集団における課題を解決するとともに、希望する進路の実現に向けて自らの課題を設定し、問題や葛藤を克服しながらその解決を図っていく能力。

■キャリア教育実践プログラム

<1学年> **定着**

指導目標：自己を理解し、他者を認め、自分の生き方・在り方を探り、自分の将来を考える基盤とするとともに、基本的なモラル・道徳心を養う。

内容：●日常的な学習習慣を確立するとともに、基本的な生活習慣・ルールを身につける。

●他者を理解することを通じて、自分自身の理解を深める。

●学ぶことの社会的な意義を理解し、自己の可能性を広げる。

1.【総合的な学習の時間】

目標：進路実現を図る第一歩として、自己理解を深めるとともに、それを言語で表現する思考・能力を培う。学習環境を整え、向学心を育む。

内容：●進路希望調査 ●自己理解・他者理解プログラム ●職業理解プログラム

●適性検査・進路調べ学習 ●基礎知識・基礎学力・SPI演習 ●進路ガイダンス

●コミュニケーションスキル ●DVD学習 ●読書活動

2.【HR活動】

内容：●学校適応と自己目標の設定 ●身の回りの整理・学習環境の整備

●自己分析と自己理解 ●体育祭・文化祭などの学校行事への対応 ●道徳 ●二者面談

●進路ガイダンスなどの進路行事への対応 ●生徒会活動 ●1年間の学校生活の振り返り

3.【規範意識の醸成】

内容：●携帯教室（4月） ●交通安全指導（5月・10月） ●熱中症予防講話（7月） ●喫煙防止講話（7月）

●思春期講話（7月） ●地域清掃活動（10月） ●薬物防止講話（12月） など

4.【学校行事・生徒会活動・部活動】

内容：●自主的な行事参加を通じて、物事に主体的に取り組む態度を養う。

●学校行事への取り組みを通じてコミュニケーション能力を養うとともに、豊かな人間関係を形成する。

●学校行事への計画・準備・実施を通して、社会参画のための基本的な能力を培う。

●学校生活の充実、改善を図る中で、計画実行能力、課題解決能力を育成する。

●生徒会活動を通して、自治能力や自治意識を培うとともに、社会性を高め、将来において社会参画していくための感性・資質・能力を育成し、社会と調和のとれた個性の伸長を図る。

●部活動を通して、その中で経験する様々な課題を克服しつつ、強靱で粘り強い意志決定力を培い、健やかに生きていくための力を養う。

●部活動を通して、異学年との関わりの中で、個人の役割を理解するとともに、コミュニケーション能力を養い、豊かな人間関係を形成し、将来積極的に社会参画するための力を養う。

5.【シチズンシップ教育】

内容：●就労体験（インターンシップ）の意義・重要性を理解し、望ましい職業観・勤労観を育む。

●就労体験（インターンシップ）を通して、社会性や責任感を身につけ、社会参画のための能力を養成する。

●職業に対する関心を深め、自分の将来について考えさせ、学習意欲の向上に結びつける。

●食育に関する体験を通して、消費者としての自覚や態度を育成する。（消費者教育）

●模擬投票を通して、政治参加や司法参加に対する理解を深め、社会的なモラルに対する考えを深める。

●地域清掃などを通して、地域との連携や奉仕することの意義、社会参画することの意味を理解させる。

●地域行事への参加などを通して、コミュニケーション能力を養い、地域や社会における自己の役割について考えさせ、主体的に社会と関わっていく資質や能力を育てる。

< 2 学年 > **向上**

指導目標：自分自身の課題を発見し、その解決に取り組むとともに、社会や経済の仕組みやその課題について理解を深め、社会参加について考える。

内 容：●働くことに対する自己の在り方と社会的な意義を理解し、自分の可能性を模索し、視野を広げる。
●社会参加について理解し、積極的な社会参加を考え、よりよい社会形成に向けての考えをまとめる。

1. 【総合的な学習の時間】

目 標：他者との関わりの中で自己の可能性について考え、表現するとともに、それを基盤として自分の将来や職業について考察していく力を培う。

内 容：●進路希望調査 ●上級学校体験授業 ●上級学校調べ学習
●インターンシップ・オープンキャンパス参加 ●修学旅行事前学習 ●進路ガイダンス ●進路分野別学習
●基礎知識・基礎学力・SPI 演習 ●一般職業適性検査 ●DVD 学習 ●読書活動

2. 【HR 活動】

内 容：●身の回りの整理・学習環境の整備 ●体育祭・文化祭などの学校行事への対応
●修学旅行に向けた準備・行動計画と平和学習 ●進路ガイダンス・上級学校体験など進路行事への対応
●道徳 ●生徒会活動 ●進路カウンセリング ●二者面談 ●1 年間の学校生活の振り返り

3. 【規範意識の醸成】

内 容：●携帯教室（4 月） ●交通安全指導（5 月・10 月） ●熱中症予防講話（7 月） ●喫煙防止講話（7 月）
●思春期講話（7 月） ●地域清掃活動（10 月） ●薬物防止講話（12 月） など

4. 【学校行事・生徒会活動・部活動】

内 容：●自主的な行事参加を通じて、物事に主体的に取り組む態度を養う。
●学校行事への取り組みを通じてコミュニケーション能力を養うとともに、豊かな人間関係を形成する。
●学校行事への計画・準備・実施を通して、社会参画のための基本的な能力を培う。
●学校生活の充実、改善を図る中で、計画実行能力、課題解決能力を育成する。
●生徒会活動を通して、自治能力や自治意識を培うとともに、社会性を高め、将来において社会参画していくための感性・資質・能力を育成し、社会と調和のとれた個性の伸長を図る。
●部活動を通して、その中で経験する様々な課題を克服しつつ、強靱で粘り強い意志決定力を培い、健やかに生きていくための力を養う。
●部活動を通して、異学年との関わりの中で、個人の役割を理解するとともに、コミュニケーション能力を養い、豊かな人間関係を形成し、将来積極的に社会参画するための力を養う。

5. 【シチズンシップ教育】

内 容：●就労体験（インターンシップ）の意義・重要性を理解し、望ましい職業観・勤労観を育む。
●就労体験（インターンシップ）を通して、社会性や責任感を身につけ、社会参画のための能力を養成する。
●職業に対する関心を深め、自分の将来について考えさせ、学習意欲の向上に結びつける。
●食育に関する体験を通して、消費者としての自覚や態度を育成する。（消費者教育）
●模擬投票を通して、政治参加や司法参加に対する理解を深め、社会的なモラルに対する考えを深める。
●地域清掃などを通して、地域との連携や奉仕することの意義、社会参画することの意味を理解させる。
●地域行事への参加などを通して、コミュニケーション能力を養い、地域や社会における自己の役割について考えさせ、主体的に社会と関わっていく資質や能力を育てる。

<3学年> **充実**

指導目標：自分の可能性に挑戦し進路実現を図るとともに、社会参加への姿勢を身につける。

内 容：●卒業後の具体的な進路決定と、それを実現していくための具体的な課題を明らかにするとともに、課題解決のための準備や努力を行う。

- 社会や経済についての理解を踏まえ、自己実現と社会参画をいかにして結びつけるかを考え、実践に結びつける。

1. 【総合的な学習の時間】

目 標：社会を見据え、自己の持つ可能性を考慮しながら将来について考察し、進路実現を図るための情報収集やそれに必要な具体的な力を身につける。

内 容：●進路希望調査 ●進路ガイダンス ●進路分野別学習
●基礎知識・基礎学力・SPI演習 ●DVD学習 ●進路学習の振り返り ●社会人マナー講座
●面接マナー講座 ●自己PR・小論文対策

2. 【HR活動】

内 容：●進路実現のための計画 ●体育祭・文化祭などの学校行事への対応 ●道徳 ●進学・就職ガイダンス
●進路カウンセリング ●高校生活の振り返り

3. 【規範意識の醸成】

内 容：●携帯教室（4月） ●交通安全指導（5月・10月） ●熱中症予防講話（7月） ●喫煙防止講話（7月）
●思春期講話（7月） ●地域清掃活動（10月） ●薬物防止講話（12月） など

4. 【学校行事・生徒会活動・部活動】

内 容：●自主的な行事参加を通じて、物事に主体的に取り組む態度を養う。
●学校行事への取り組みを通じてコミュニケーション能力を養うとともに、豊かな人間関係を形成する。
●学校行事への計画・準備・実施を通して、社会参画のための基本的な能力を培う。
●学校生活の充実、改善を図る中で、計画実行能力、課題解決能力を育成する。
●生徒会活動を通して、自治能力や自治意識を培うとともに、社会性を高め、将来において社会参画していくための感性・資質・能力を育成し、社会と調和のとれた個性の伸長を図る。
●部活動を通して、その中で経験する様々な課題を克服しつつ、強靱で粘り強い意志決定力を培い、健やかに生きていくための力を養う。
●部活動を通して、異学年との関わりの中で、個人の役割を理解するとともに、コミュニケーション能力を養い、豊かな人間関係を形成し、将来積極的に社会参画するための力を養う。

5. 【シチズンシップ教育】

内 容：●就労体験（インターンシップ）の意義・重要性を理解し、望ましい職業観・勤労観を育む。
●就労体験（インターンシップ）を通して、社会性や責任感を身につけ、社会参画のための能力を養成する。
●職業に対する関心を深め、自分の将来について考えさせ、学習意欲の向上に結びつける。
●食育に関する体験を通して、消費者としての自覚や態度を育成する。（消費者教育）
●模擬投票を通して、政治参加や司法参加に対する理解を深め、社会的なモラルに対する考えを深める。
●地域清掃などを通して、地域との連携や奉仕することの意義、社会参画することの意味を理解させる。
●地域行事への参加などを通して、コミュニケーション能力を養い、地域や社会における自己の役割について考えさせ、主体的に社会と関わっていく資質や能力を育てる。

■学習指導

【全体目標】

- 3年間の前半においては基礎学力の定着を図るとともに、後半においてはその発展的な育成を行う。
- 主体的に学習に取り組む姿勢を育む。
- 日常的に家庭学習に取り組む姿勢を養う。
- 授業の中で学び直しや基礎学力の定着に関わる活動を取り入れ、生徒の学習意欲の向上を図る。
- 基礎学力、学習意欲に対する指標を持ち、授業の改善に活用する。
- 授業でICTを積極的に活用し、生徒主体のわかる授業の実践を目指す。
- 組織的、計画的な補習を行う。
- 論理的な思考力を培うとともに、そのスキルを養成する。
- 政治参加・司法参加の意義を学び、積極的に社会参画していくために必要な知識と能力を培う。
- 学校図書館と連携し、情報を収集、活用する能力を育成する。

【各教科の目標】

- 国語**：社会人として必要な国語の力を育成するとともに、生命や人権を尊重する態度と発言し行動する能力を養う。
- 地歴**：日本や世界の歴史的成り立ちを理解するとともに、異文化理解を進める。
- 公民**：現代社会の仕組みを理解するとともに、それに参画する、知識・資質・能力・倫理観を養う。
- 数学**：数理的な思考の基礎を学ぶとともに、柔軟で論理的な思考のできる能力の育成を図る。
- 理科**：物事を科学的に探究する能力と態度を育てる。
- 英語**：英語で読む・書く・話す能力を養うとともに、異文化を理解し、国際感覚の育成を図る。
- 保体**：健康やスポーツについて理解し、豊かで活力ある生活を営む態度を育てる。
- 家庭**：人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的にとらえ、家庭や地域の生活を創造する能力・技術・態度を育てる。
- 芸術**：芸術を愛する心情を育てるとともに、感性を高め、豊かな情操を育む。
- 情報**：情報リテラシーを身につけるとともに、効果的にコミュニケーションを行い、情報化の進展に主体的に対応できる能力・態度を育てる。
- 福祉**：人間の尊厳と自立支援の理念を踏まえ、専門職としての能力と職業倫理を育成する。